

今こそ、秋の草地管理を！！

良質な粗飼料を生産するために、この時期にぜひやっておきたい草地管理があります。草地に繁茂するギンギシの除草剤処理と、新播草地での雪腐大粒菌核病の防除です。

(1) 経年草地のギンギシを退治しましょう

ギンギシの除草剤処理は、高温による牧草へのダメージが少なく済むので、秋時期が良いタイミングです。

ギンギシの葉が手のひら程度に展開した時期が散布適期となるので、適期を逃さずに散布しましょう。表1で除草剤の使用方法等について確認してください。

表1 経年草地のギンギシ秋処理に使える除草剤とその使用方法

薬剤名	使用時期	10a当り 使用量	使用 回数	注意事項
アージラン 液剤	10 月中～下旬 (ギンギシの 栄養成長期)	300～ 400ml	1 回	・最終採草後におこなう ・散布後 14 日間は放牧しない
ハーモニー 75DF 水和 剤	秋処理 (採草 21 日前 まで)	3g	1 回	・クローバへの薬害は大きい ・散布後 21 日間は採草、放牧をしない ・使用後のタンク、ホース等は専用洗浄 剤できれいにする

(2) 新播草地での雪腐大粒菌核病を防除しましょう

昨年の春は、チモシーの新播草地で雪腐大粒菌核病が多発しました(写真1)。根雪が遅かったことが原因と考えられます。

また、草地更新が遅れて、越冬前までに牧草が十分に生育できなかった場合にもこの病害の発生が考えられます。

特に今年は、天候不順のために牧草の種が遅れたほ場があります。そのような場合には、根雪前の殺菌剤散布をおすすめします。表2を参考にしてください。



写真1 雪腐大粒菌核病

表2 新播草地の雪腐大粒菌核病防除に使用できる殺菌剤の使用法

薬剤名	使用時期	使用濃度	使用 回数	注意事項
トップジンM 水和剤	11 月中～下旬 (根雪前)	1500～2000 倍	2 回	・根雪になる前に散布する ・散布後は放牧しない

表1および表2: 北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドより抜粋

(2019年10月発行 十勝農業改良普及センター十勝東北部支所)